

分銅の取扱いについて

保管環境

★ 専用のケースで保管

分銅にほこりや異物が付着すると質量変化の原因となります。



★ 磁気を帯びない環境で保管

磁気を帯びることにより測定結果の変化の原因となります。



★ はかりと同じ環境で保管

温度差による対流、結露で測定結果の変化の原因となります。
参照：JIS B 7609:2008 表 B.2 温度の安定化に必要な時間

取扱方法

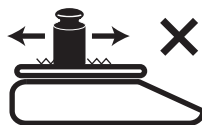
★ 素手で触らない

油脂などの汚れの付着、サビ等の質量変化の原因となります。
手袋・ピンセット・フォーク・グリップ・シリコンクロスなどをご使用下さい。



★ 分銅を摩耗させない

分銅を計量皿上で滑らすと摩耗し質量変化の原因となります。
また、傷が増えると汚れが付着しやすくなるためご注意下さい。

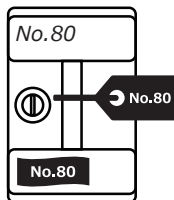


★ 分銅に手を加えない

以下のような質量を変化させる行為は、ご遠慮下さい。

- ・マジックなどによる記載
- ・管理シール貼付け
- ・管理タグ取付け

校正結果に対する信頼が損なわれます。
当社では清掃または取外して校正をさせていただきます。



★ 定期的な校正

分銅を丁寧に、ご使用頂いていても摩耗など目には見えない質量変化の可能性があります。適正な計量管理を行なう上でも定期的な校正が推奨されます。
校正周期については裏面をご覧ください。

清掃方法

★ 定期的な清掃

分銅のほこり・汚れについては質量変化の原因となります。
定期的な清掃をお願いいたします。

★ 清掃方法及び注意事項

柔らかいブラシ・シリコンクロス等でほこり・その他の異物を取除いて下さい。



上記の方法で取除くことができない著しい汚れがある場合にはアルコール、蒸留水などを使用して拭きとって下さい。

注意：分銅は液中には浸さないで下さい。

清掃後は以下の表に示す安定化時間、乾燥させて下さい。

■ 清掃後の安定化時間

清掃法	E2級	F1級	F2級～M3級
アルコール清掃	3～6日	1～2日	1時間
蒸留水清掃	2～3日	1日	1時間

参照：JIS B 7609:2008 表 B.3 分銅の清掃

★ はかりの清掃

はかりの計量皿が汚れていると分銅に汚れが付着して質量変化の原因となります。計量皿の定期的な清掃をお願いいたします。
清掃方法については、はかりの取扱説明書をご覧ください。
また、清掃が困難な場合は薬方紙などを計量皿に敷いて分銅に汚れが付着しないようご使用下さい。



分銅の識別

★ 当社 OIML 円筒型・板状型分銅表記例

公称値 表記内容	精度等級			
	E2級	F1級	F2級	M1級, M2級
20kg～5g 公称値：100g 識別記号：80 の場合				
2g・1g 公称値：1g 識別記号：80 の場合				
500mg ～1mg 識別記号：80 の場合				